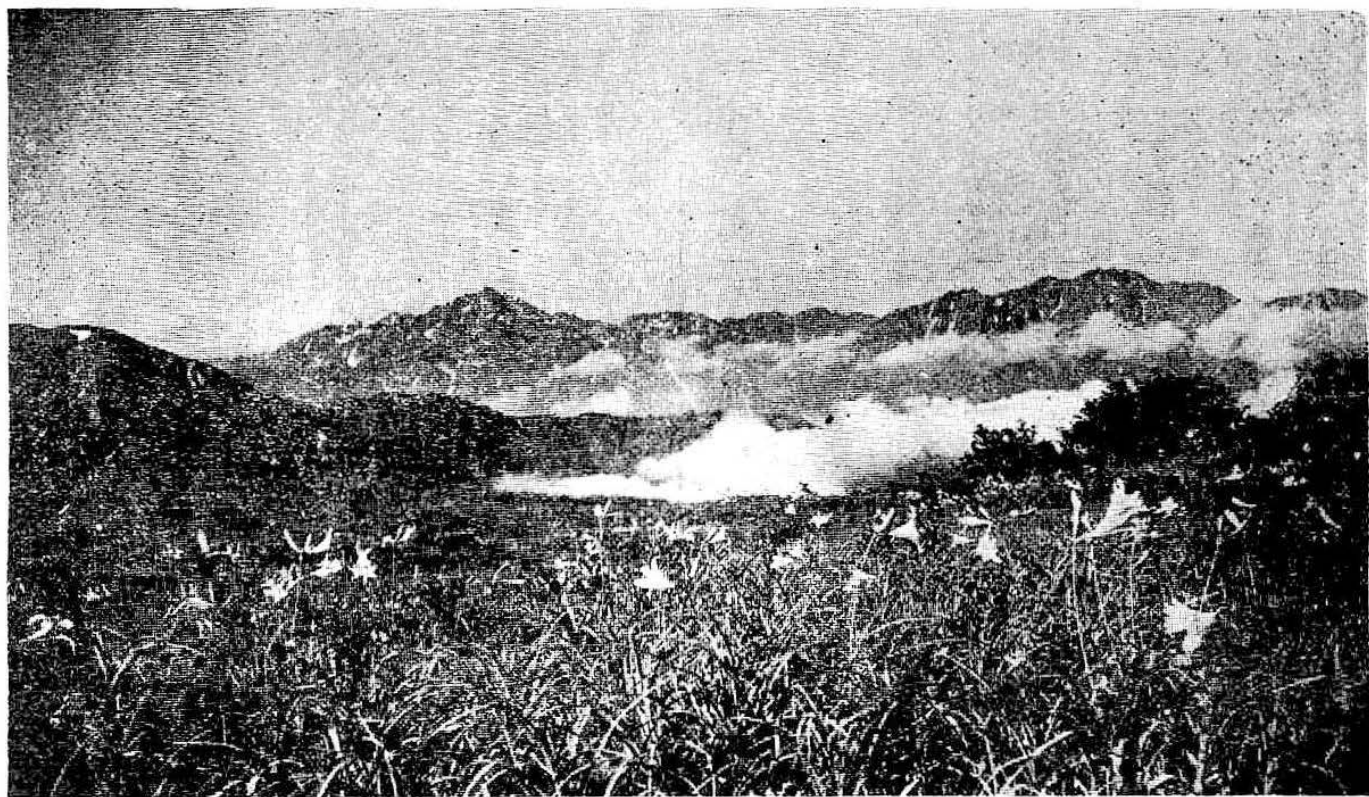


あさひ

創刊号



昭和 30 年 6 月

夏の朝日岳

郷土の史蹟名勝を訪ねて、

朝日岳は、海拔二、四一八
 ・二米、中部山岳国立公園北
 アルプス、白馬連山に於ける
 最北端に位する名山で、大弧
 状の山容は、女性美を以つて
 知られ、眺望の絶佳と頂上迄
 に繰りひろげられる汚れを知
 らぬ高山植物の美は、他にそ
 の随道を許さない。山麓の北
 又の溪谷、奥地の原始林に未
 だ世人に知られない所が多く
 まさに人跡未踏の地と云えよ
 う。

富山平野、黒部扇状地、日本
 海、白馬連峰、前立山連峰の
 景観は名状しがたく、近年登
 山者が激増し、大連華山保勝
 会に於ては、終戦直後より北
 ア、朝日岳を中心とした登山
 コース設備の充実に努力をつ
 づけて来たが、理解ある県當
 局、営林署、有志各位の多大
 の御援助を得て、北又谷、朝
 日平に建設された兩山小屋も
 收容能力を遙かに突破する盛
 況となつたことは、偏えに関
 係各位の適切な進言と、御指
 導の賜と感激の他ない。
 現在北アルプス観光の重要な
 コースとして朝日岳を中心
 とする、長母、雪倉、鉢ヶ岳
 の稜線は快適な尾根道であり
 北アルプスに張られた、くも

記

- 一、七月十日(日) 山開き
- 二、小屋料金及期間
- 1 北又谷小屋、主食携行、
寝具貸与、二食壹百五拾円
- 2 朝日平小屋、右に同じく
貳百五拾圓
- 三、団体、学生割引あり
- 3 開設期間、七月十日より
八月末日迄
- 三、コース案内
- 1 泊駅——小川温泉元湯又
は北又小屋(泊)——朝日岳
小屋(泊)——小川温泉元湯
小屋(泊)——白馬岳方面
- 2 朝日平小屋(泊)
- A 朝日岳——白馬岳——祖
母谷(泊)——宇奈月
- B 朝日岳——白馬(泊)——
唐松——後立山
——四ツ谷——松本
- C 朝日岳——蓮華温泉——
糸魚川

大連華山保勝会電話山崎 二番

写真は 朝日お花畑より
立山連峯をのぞむ

創刊の辞

朝日町長

金森吟



県境の玄関、泊として印象づけられて来た我朝日町は、昨年八月、一町六カ村の合併に依つて誕生し、その後間もなく、野中村を合併して、人口約二万五千、面積一三五・七平方杆を擁する県下有数の大町として発足を見るに至つた。由来、管内及附近は、観光の資源に恵まれ、親不知の嶺を始めとして、古代の大自然を彷彿たらしめる文部省指定の天然記念物「鹿島樹叢」がある。また全樹叢から背後、宮崎城跡一帯の地には、温帯性の動植物並に地質学上研究的価値多しとして、昭和二十七年四月、文部省から、博物館法施行と共に、自然博物館の指定を受けた文化財がある。県内外の学徒、研究家が統々来往して研究を続けている。又国鉄泊駅から徒歩約十五分（毎列車バスの連絡）の泊小川温泉は由緒深い馬より山の中腹にあつて、近く富山湾を一望の裡に収め、特に夕陽、西海に發する頃の風景は四時、浴客の心境を陶酔させている。また同温泉の将来を運命づける隣接小丸山グラウンドは来る三十三年、本県で行はれる国体種目の内、軟式野球会場としての内定を見、目下夫々準備が進められている。

尚白砂青松の宮崎浦も、その風光と海の幸とが、最近頗る世の認識を深め、県内外の児童、生徒その他一般客が連日観光バスに満載されて、名にし負う宮崎の浜汁、浜焼に舌鼓を鳴らして終日歡を盡している。更にまた、旧山崎村の元湯小川温泉は、幽邃明媚な自然の風光と峽間、到る処療々として湧き出る豊富な温泉は数ヶ所の浴槽に湛えられ、殊に数十尺の高い岩壁から湯瀑となつて落ち来る露天風呂となつて他に見ることの出来ない景観として浴客の心を喜ばせている。国鉄泊駅からは行程三十分、毎列車バスの連絡がある。

又全温泉から工築中の奥地林道は幅員三、六米、行手には千古斧鉞を知らない大森林があり、廻り七、八尺以上の桂、ブナ材等殆んど無盡蔵の資源が眠っている。この地越道峠まで約一里半、今やその測量も終つておそくも明後年中には国営を以て完了の予定なので、国鉄泊駅迄延長六里、トラツクが木材を満載して日に二往復出来るとの明るい見通しがついている。

尚同温泉は従来白馬、朝日への登山口として知られ、大連華保勝会も出来て居るので、林道完成の上は愈々登山熱を沸かしめるものとして、岳人等を喜ばしている。

過般観望協会が結成され、茲に「あさひ」を刊行するに当り観光資源の一端を紹介して創刊の辞に代えることにした。

「あさひ」の發刊を喜ぶ

朝日町議會議長 清水傳平

昨夏朝日町が誕生して漸く一年になん／＼として居るが、色々な面で整備されて来た様に思われる。町財政の確立に、行政整理や機構改革に事業の統制に、企画の一元化等相当効果を挙げて来ている。旧町村と言ふ地区も何かにつめて脱皮はしているものゝ、今も尚部落的な気分がなにも云えない点がある。

これは朝日町に対する認識が足らぬからで、お互の理解によつて協力態勢が生れ、協力態勢のもと、人の和が生れ、強力な自治体としての能力を發揮することが出来る筈である。



今度、朝日町をよりよく認識するよう「あさひ」の發刊を見たことは誠にうれしいことの一つである。此の「あさひ」が朝日町の昨日迄の歩みについて町民の理解を深めると共に反省もし、更に明日からの歩みについて協力を求める重要な素材となり、町民各位も此の働らきを充分活して呉れる「あさひ」に期待もかけられる訳である。

朝日町の消長が町民各位の台所に直接響き、生活に大きな影響を及ぼすものである。それだけに又関心も

深く、毎月の町政自体が住民の各世帯に浸透する唯一の道は今のところ「あさひ」以外にないのではなからうか。

有線放送の施設も望ましい。然し今日の段階では全町に普及徹底するには町民自体の負担が、あまりにも重すぎる、せめて容易な方法として此の「あさひ」は至極有意義であると考えられる。県の広報を始め沢山の広報が刊行されていて、それぞれ発展しつつある自治体の実態が良く認識出来る丈でなく、更に此の広報が、その市町村の住民全体のものとして成長させて行き度いものと思つている。

此の意味で朝日町の「あさひ」も紙面には限りはあつても一行でも二行でも、職場を異にし老若男女その立場をも同じくしていない町民が一人でも多く、その意見を載せて欲しいと念願している。そしてそれが町民各位から選ばれた議会にも反映させて皆様に不即不離な姿で町当局が町政の運営に当るよう努力もし、鞭撻もし度いものだと思つている。

茲に「あさひ」がその第一号を發刊されるに際して、うれしさの余り蕪辞を述べた次第である。



教育委員長 山田 茂

首途祝す

朝日町中央公民館は新装をこらし

て發足した事を心から御祝いたしたい。朝日町の中央にその雄姿を現はし、此のところ東南に風光明媚な一大観光の北アルプス連峯連り、北は渺茫たる富山湾を控え、西は豊穰な新川平野に接す。此の間朝日町に住む人々の血をたぎらせ、肉躍らすの活をいれるものは朝日町中央公民館の使命である。

公民館活動に關しては今更喋々することもないとも考えるが、所見の一端を述べて祝辞にかえたい。

公民館の指導などに對しては、社会ではまだ認識がたりない感がある。社会の多くは、学校を卒えてから、それ／＼（社会学校（仮称））に於ける何年生であるかといふとよく認識してはどうか、只年令を数えるだけである。これによつて自己を反省し自覚していることが好ましいと考える。社会は公民館に於ける指導誘接に副つて、よりよい社会人として生活するのが望ましい。終戦この方既に八ヶ年、その間戦時を生きぬいて来た吾々には、それが最もよい指針を与えてくれた事を認めて、真にこの点を活用善用することが生活の安定向上の基盤となすものと信ずる。

又よりよい文化生活を営むためにはいろいろ／＼とその手段方法もあるが多方面の視察各種の見学を行うことが必要と考える。物見遊山はこれを避けた。どんな場所でも他の長をとり短を補うてこそ視察見学のものと本領であつて、何れも軽重はない。又講習・工場・会社・見学は皆勉強で、依つて以て知見を高め経験を積むべきで、偶々視察を喜び見学を嫌う様では物にはならぬ。

旧思想即ち封建的の云々ことをよく耳にするが、封建時代に生れ且つ生活して来た人にはな／＼この頭がぬけないのが、所謂舊百まで躍り

昭和30年5月1日 新発足を見た 朝日町の行政機構

昨 昭和 29 年 8 月 1 日、発足した新朝日町の行政機構は、その後 9 カ月、事務の簡素化、経費の節減による健全財政の確立を目的として、昭和 30 年 5 月 1 日より次のように改革が行われこれに伴い人員も縮小された。

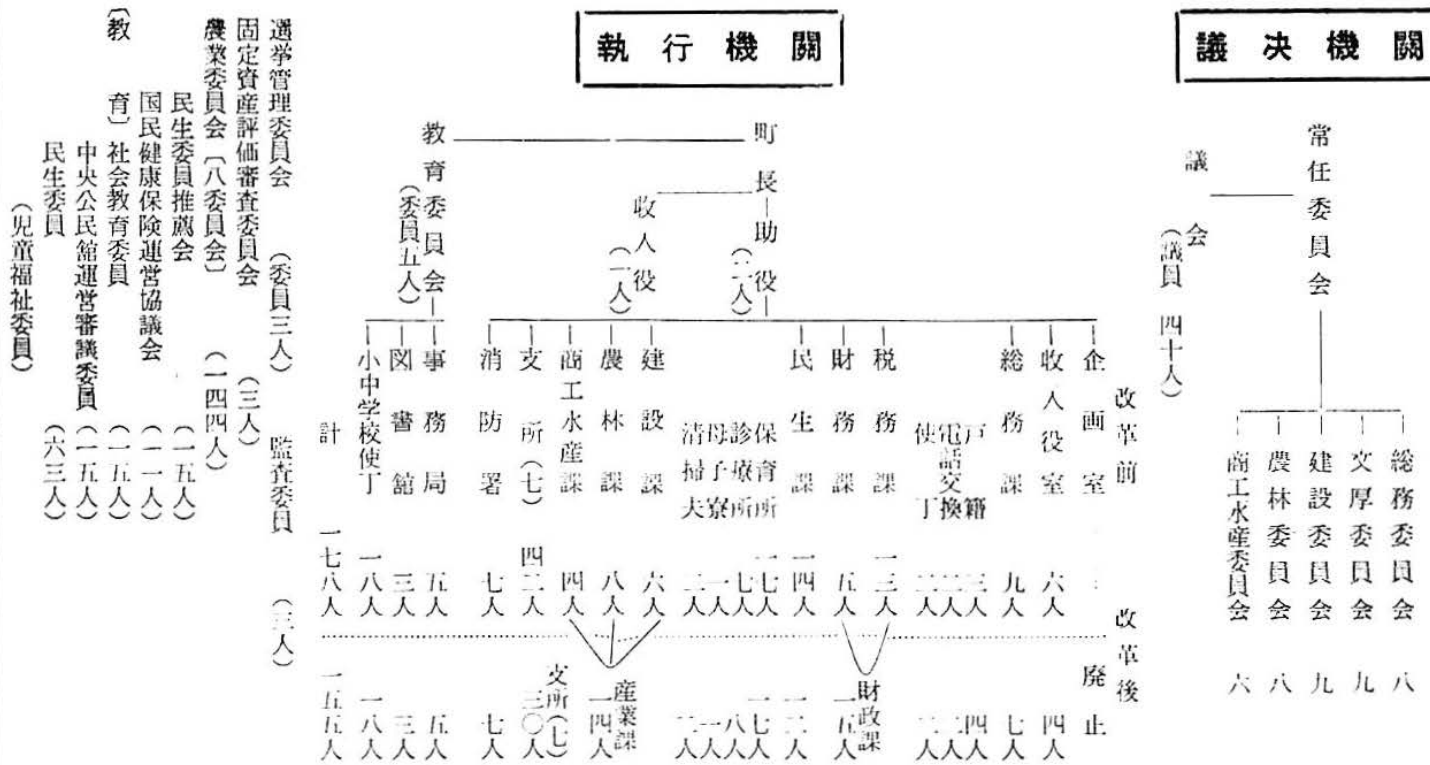
〔総 務 課〕

を忘れずと云うことと同じことである。而しわずか自由民主と呼ばれる時代に僅かの年月間生を得て、それでも当を得ておろうがいまいが、自由とか民主とかを振りまわすのも亦どうかと考へる。新旧思想が巷に衝突を起して社会を暗くしていることも少なくないと思う。温故知新は不滅である。必ずしも若きが自由民主

で、新しいとか、老いたるは封建旧式と云うものでもない。只頭のすわりどころがその根柢をなすもので、老若は若きの境遇や前途を洞察してその指導に善処し、若き者は老が嘗ての歩みを顧み考へて前途を守りつつ大成すべきでお互に離反すべきでない。社会を指導し訓練すると云うことは中々バケいことではある。

執行機関

議決機関



町税の賦課徴収について 財政課

昭和二十九年年度は町村合併が年度中途において実施されたため、税金については旧町村で賦課されたものをそのまゝ朝日町へ引継がれたのであり、随つて賦課率や納期に於いても区々であつたのですが、昭和三十年からは、朝日町を一本とした賦課率をもつて課税することになったのであります。故に固定資産の評価や町民所得の把握には地区毎に不均衡のない様最も公正を期して居ります。が、先にも述べたとおり本年は合併初年度の賦課であり、或は誤謬等もあるかと思はれますので、御不審の点があれば税務係に申出られ、よく納得の上で納税して下さい。

納税の大切な事は今更申し上げるまでもありませんが、朝日町が生れたばかりで、これから町づくりは一にも二にも皆さんの税金がもとであります。別掲昭和三十年年度の予算図表にも表はれて居るとおり財政の根幹をなすものは、町税収入であります。随つて税金が滞納になると町はこの替り財源として利子のかゝる借金をしなければなりません。この利子は税法によつて当然滞納者で負担

すべきであります。旧町村の中には滞納金など徴収しない町村があつたやうですが、これは間違つて居るので朝日町では延滞金、延滞加算金など税法どおり徴収致します。この場合は日歩八銭の金利となります。こんな高利の税金は滞納せず必ず納期限までに納めて下さい。

町税の税目及納期は左記の通りです

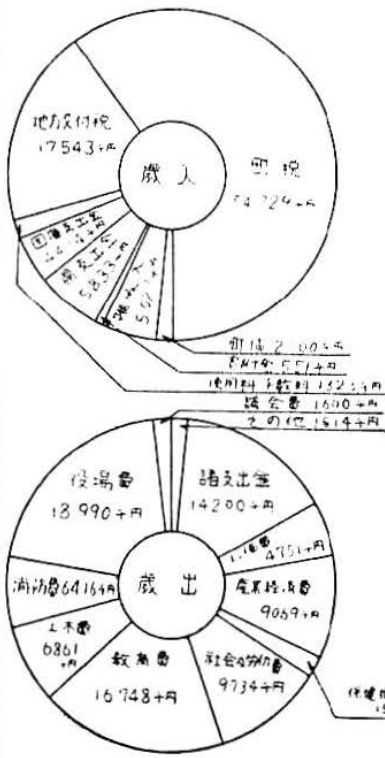
一、普通 税

税目	納期
1 町民税	一期 六月 二期 八月 三期 十月 四期 十二月
2 固定資産税	四月 七月 十二月 二月
3 自動車税	全 期 五 月
4 消費税	毎 月 特別徴収
5 ガス税	毎 月 特別徴収
6 鉱産税	毎 月 特別徴収
7 木材税	毎 月 普通徴収
8 入湯税	毎 月 特別徴収

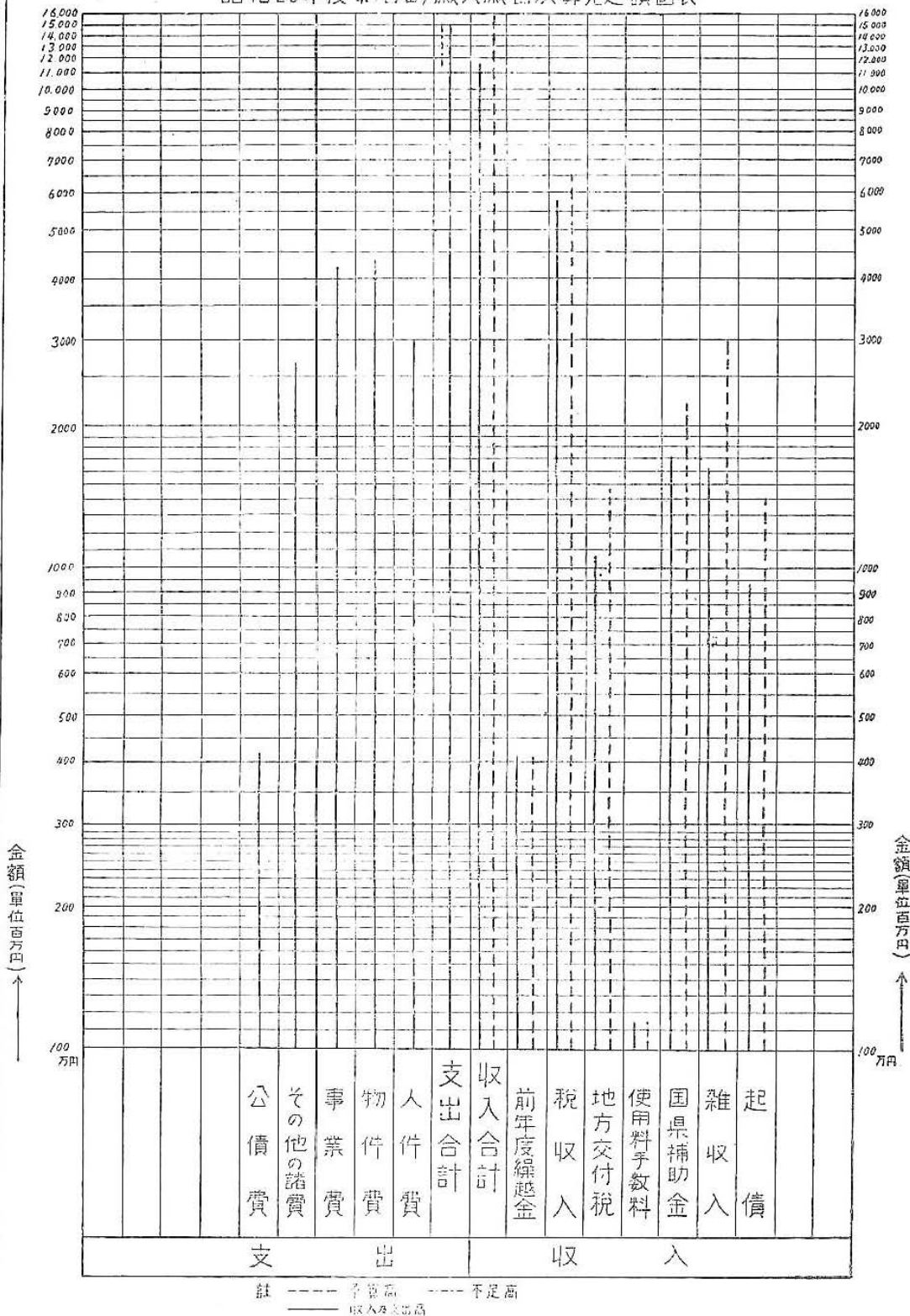
二、目的 税

税目	納期
1 地益税	一期 七月 二期 十二月

以上



昭和 29 年度 朝日町 歳入歳出決算見込額図表



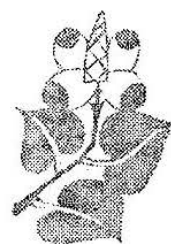
朝日町体育協会結成さる

六月十三日、体育協会代議員会を開催、規約を審議裁決してこゝに朝日町体育協会が結成された。

会長 池原 啓三
常任理事 折谷二三夫、水島善宝、芦崎勇吉、上沢源次、清水賢二
理事 水島 畑次郎

副会長 清水 倫造
勝田 忠雄

水島畑次郎、芦崎勇吉、橘益永、野末源太郎、上沢源次、高松繁、水島善宝、扇谷光雄、高田昭一、清水賢二、広川透、水島順作、竹内俊一、折谷二三夫、監事 鹿熊安正、近藤彌右エ門、水島近太郎、代議員 田中恒雄、大管千之、花房喜代次、

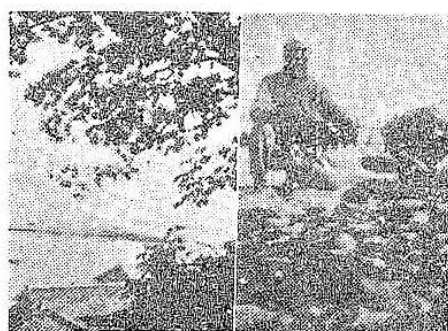


宮崎若布に賦して

舟川 栄次郎

世がせちがらいからには
優しい心でいようたつていられるか
とお前たちはとげとげしく毒すく
そして世に抵抗する雄雄しい自分の
姿を幻想している
だがそれは抵抗ではなく
世の荒波におし流された
無能な者の姿でしかないことを識る
べしだ

宮崎若布を知っているか
灰つけ若布を洗つて舌の上にのせて
みたことがあるか



日本海の激しい浪と高い潮にもまれ
ても……

だから巴を茶褐色に鍛え
その愛情の深い翠り色のやわらかな
胸のなかには
根強い永遠の青春の憧れを宿してい
る
多くの小ざかなはかげを慕い寄り
根もとでささえがかたいふたをあけ
てひるねをしている
おまえたちは
宮崎若布の真実に触れたことがある
か――

地区バザール



境地区便り

昭和三十年四月、土師清庵氏、新公民館長として新任、かつて境村の社会教育委員として活躍された経歴を生かして今度公民館活動に、御審察して戴かれることを、喜んでゐる。境地区民一同御期待して止みません。境地区の生業の大部分は出稼ぎを以て占めてゐる、其の人達は誰もが勤勉で貯蓄心旺盛で後顧の心配なきよう奮闘してゐられる、誠にうれしきわみであります。境公民館ではせめてものお便りと連絡との意味で境公民館報「越の境」を出稼ぎ地に発送してゐます、其の数二百三十六通に及んでゐます。遠く九州北九道から県内の離境されてゐる人達を調査してお送りしてゐますが、非常に喜ばれてゐます。

今度、朝日町役場で「あさひ」を発行されることになりましたが、境公民館の「越の境」はローカルニュースとして今後も出稼地とのつながりを持つためにけい統して行きます。境地区出身の皆々様の益々御健闘をお祈りします。

元境公民館長永島清吉氏の死をいたむ、故水島清吉氏は初代境公民館長として境地区の文化活動、並びに新生活

運動に挺身され、青年団、婦人会の育成発展に貢献され、現境地区公民館発展の基礎を造つて下さいました。今回の突然の死去に對して日頃の御功績を感謝申し上げると共に、哀心から御冥福をお祈り申し上げます。写真 さかい橋を望む

宮崎自然博物館コース
改修工事地元民の手で

学究の場として、レクリエーション観光の地として、昨年以来急激に小中高校生の修学旅行や一般団体の来観者の数が増えて連日にぎわつてゐる宮崎自然博物館のコースのうち「鹿島樹叢」を経て鹿島神社拝殿に達するところに、北陸線の鉄道を踏切る所、殊に宮崎トンネル東口に当る道路は、之等来観者にとつて最も危険な場所として、此の危険防止の上からトンネル上に新しい道路を造ることが計画された。



去る五月十一日、地元宮崎地区の住民総出動の勤勞奉仕に依つて此の道路改修工事がなされて、こゝに鉄道横断の危険なくして、而も自然博物館コースに似つかはしい面白い道路が出来上つた、自然の生態そのまゝと云う特異な存在である宮崎自然博物館のまづ着手しなければならぬ施設の中でも最も急を要するのは、道路の改修である、家族づれの身軽なハイキングが楽しめるような道路が出来上つた

その時こそ、宮崎自然博物館が真にその設立の使命を充分に全う出来るのである。

忠魂碑除幕式及び
慰靈祭 挙行

この程笹川部落では八十数万円の巨額の資金を投じて幾千年の洗い清められた、笹川溪流の自然石を以つて着々進められていた忠魂碑建設が数ヶ月と、工事人員延べ千数百人をついにしこに見事に完成し新緑の香りをたよう六月五日この除幕式並びに慰靈祭が挙行され明治二十七年、八年戦役以後大東亜戦争に至る間、国民の万才歓呼の声に送られ「今日よりはかえりみなく大返の...」と、親を子に後にし大陸に、南海の孤島に奮戦すべき一命を御国のために捧げられた三十五柱の御霊が、ふるさとの山河に囲まれる小学校々庭の一隅にとこしえに長く安らかに眠ることゝなつた

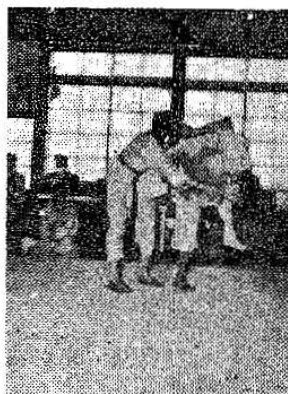
この日は晴天に恵まれ老いも若きもこぞつて参列し遺家族の方々は黄色リボンを胸につけ感慨無量の面みでひざまずき厳かに進み行く除幕の式に耳を傾け祝詞の音が静かに校庭に流れ、悲しみに下うつむく未亡人、子を失つた老婆背をしのびそつと涙を拭くといしき姿を見て参列した村民一同胸のひきしまるを覚え涙の誘うを禁じ得なかつた。



桜町地区

肉弾うつ道場

黒東柔道親和会
朝日町公民館を道場とし、豊教三十枚、柔道着二十着を備えつけ、青少年の鍛練場として昭和二十一年一月より発足した。毎年一月柔道大会を開催し、参加チームは八組乃至十組に達している。教師並に主なる会員左記の通り。



教師	範士	五段	西村	俊正
客員	四段	井田	英松	
会員	三段	窪田	市造	
	三段	上田	安吉	
	二段	高松	菊盛	
	二段	南茂	進	
	二段	大久保	仲秋	
	初段	田中	富二	
		田中	仲幸	
		南茂	高雄	
		南茂	義雄	

(写真は柔道大会の試合)

郷土の生んだ

長谷景治選手の後援會結成

日本水泳界のホープ

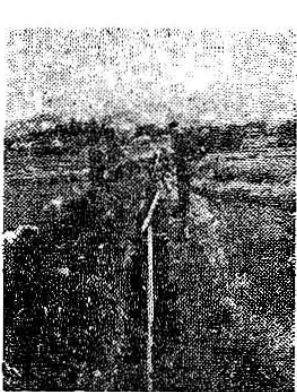
旧南保村高島出身、現在大阪市の鐘紡大阪工場勤務の、友吉氏を父に

持つ長谷景治君は、早稲田大学第一商学部二年に在学の、日本水泳界のホープである。

景治君が、今日水泳界に活躍するに至つたそもその始まりは終戦の直前、昭和廿年七月から廿一年一月迄、郷里の南保村に疎開し、南保小学校四年に学んだ時に及ぶ。当時、やせ型の景治君ではあつたが非常に水が好きで、朝夕、南保小学校のプールにつかつてゐた。そして始めて水泳を習いおぼえたのである。

昨年のハワイに於けるアジア、オリンピック大会には、百米背泳にはハワイのオヤカハに惜敗したが、二百米には、オヤカハを敗つて堂々優勝の栄冠をかち得た彼は、日米対抗競技に於て、百、二百共に優勝、二百米に於ては早大の吉田選手の記録を十三年ぶりに更新、二分二十五秒の新記録を挙げたのである。

次期五輪大会メルボルン会場へ出場に有望な選手として、その活躍が期待されてゐる。地元朝日町に於ても町長が發起人となつて、彼の後援會を結成、将来の大成に声援を送ることゝなつた。



野中地区

簡易水道

竣工式 挙行

かねてから、飲料水不良になやんでいた野中地区、西中、中沢に於て

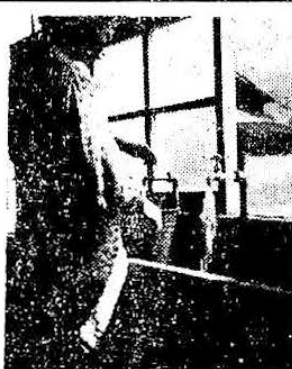
は昭和廿九年二月、管易水道工事に着手、継続工事としてその工程を進めて来たが、今年三月十八日、設工を見た。

此の管易水道は、工費五百五十万円を以てなされたもので入善町墓ノ本地区の湧水をボーリングして引水延々六、九三〇米の幹線は、六インチ—三インチパイプが敷設され、支線は延長六、四〇〇米に及びインチ〇、六インチ管を以て各家庭に配水されている。

蛭谷簡易水道竣工

近く通水式举行

さきに、南保地区竹ノ内部落が簡易水道を施設して住民の飲料水を解決したことにしげきされ、蛭谷地区



に於ても、住民の要望によつて、簡易水道敷設を決定し、去る二月二十日、着工の運びとなった。此の工事は予算三百七十万円

水源は蛭谷奥の山林中に湧出する清水を、ボーリングして水量を増し、蛭谷地区百三十戸の各家庭に配水を行っている。

大平分教場の

學童浴槽

山間僻地の小学校のなやみの一つ

に、とかく父兄は山深く星をいたゞいて出かけ、星を見て帰る生業のいそがしさに、子供等の身のまはりすら見てやれない状況なので、今年二月以来工事を進めていた、學童風呂が先日竣工、分教場の先生が學童等



と共に入浴、手足のあかを洗い流すと云う、まことに子弟一如のうるはしい学校浴場の風景が展開されている。學童等の保健衛生に資するところ実に大なるものがあり、校下父兄に喜ばれている。

南保小學校の プール修理成る

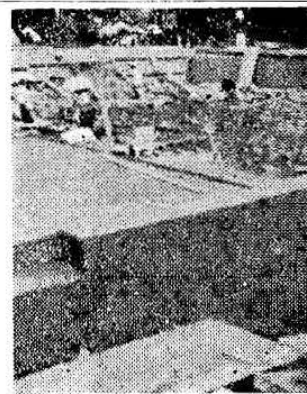


日本背泳界の王者、長谷景治君が終戦の年、疎開入学した南保小學校のプールこそ、彼の今日の地位を打ち立てる最初のものであった。彼の昨年八月樹立した輝かしい日本新記録に刺けきされ、従来の水遊び場的プールを修理して、正規なものとななければとの校下の父兄の要望となつて現われたのである。

今度の設計は長さ二十五米、巾十五米、新しくオーバーホールを側壁に背景クリップを一端に設け、水深一米、全面及天場をコンクリート仕上としたもの、尚昭和十九年度卒業生

朝日町連青の

輪轉



（プール新設当時勤勞奉仕をして工成らずして卒業した学年）の厚意ある寄附金によつて、スタート台及白線のタイルを附がすることゝなつた。今度の工事が着々と進捗しているかぎには、設計者上井宗太郎氏、請負者谷口重成氏、監督大森善治氏の美挙や誠実がこめられて、此のプールも旬日を出でずして完成の運びになるはずである。

（写真は竣工近いプール）

昨年新生朝日町の誕生と共にそれに呼応して發足した朝日町連合青年団も、本年に入つて、ようやく軌道に乗りかけた様に思う。昨年九月連青結成以来愛国心に燃えた幹部の指導に依つて築きあげられた団自体の充実、今後の青年団活動に寄与するところ大なる事と思う。

即ち結成記念大運動会及び、合併祝賀祭に於いて、各校下団の結集せる行動力を如実に示すと共に、団員個々の自主的精神の高揚と協同心の益々旺盛になつたことは誠に喜ばしいことである。

さて、本年は恒例に依り、二月十三日、朝日連青年大会に於いて役員改選が行なわれ、団長に西島氏が選出されたが、ここに明記したいのは役員はほとんどが、新人であること云う事である。と云うのは、役員依存主義を脱し、希求された団員個々の自主的な、青年団本来の道に近づいたものと信じている。青年団活動の健全育成を促進する中に、まず役員の適時交代は、青年団指導面に於いて新鮮さがあり、環境の擁護とからみあつて必要だと思ふ。

青年団の動きが、従来からのスポーツ、芸能に、活発化した過程より外部団体の連繋は常に、これと密接な連絡を強化し運営面に於いては、他団体には、歩を譲らず、本年に入つての、団員総数は、一、六三九名の多きを、ようするに至つてゐる。

これは云うまでもなく町民各層の支持を得、青年層に高く評価されつつあることを、意味するものと思う。

青年団活動も次第に、リクリエーションの場と変わりつつあることは、青年団運営の面にも高く取り上げられ、又機会あるごとに、パーティーを開催、フオークダンス、スクエアダンスの普及に、つとめていくことも、一つは団員相互の親睦をはかりひいては、健全な、団活動の育成に貢献している。

又、校下団では、演劇の研究を取り入れ、近くその発表会も、開くことになつてゐる。

又各分科会に別れ、スポーツに、農事に各々研究が盛んに行なわれ、適時発表会が催されている。

多くの変転を見て、今日の明るくのび／＼と育成されつつある、朝日

行事経過（六月十五日現在）

◆総務委員会

四月上旬 朝日町議会状況をデープレコーダーに集録、各校団に巡回

四月十二日 県議会合同立会演説会開催

泊高校及小川中学にて

五月二十日 朝日連青役員名簿作成

五月三十日 県議会議員選挙について公明選挙反省会

六月十日 各委員会の総括事業並予算書作成

◆文化委員会

六月十五日 機関紙「朝日連青」第一号発刊

◆産業委員会

四月十日 産業行政座談会を泊公民館にて開催

◆体育委員会

四月三日 各校下団対抗第一回ソフトボール大会（小丸山グラウンドに於いて）

優勝境校下団

◆家政委員会

四月二十四日 台所視察 入善町小摺戸参加者十七名、引辛若大井先生

五月五日 手芸講習会 泊中学校講師 紫山女史

種目編物、ししゅう



朝日町 連合婦人会

新生朝日町の発足と共に、旧一町七ヶ村の単位婦人会が結束しましてここに新しい朝日町婦人会が誕生致しました。

全会員数三、七八〇名は水野会長を中心とした新たな機構の下に、会員相互の親睦と明るい平和な町の建設に協力して希望に満ちたその歩を初めたいとございます。

婦人団体のあゆみ

風光に恵まれた、我が郷土の自然環境と共に、山、町、野、海と変化に富んだ、各単位婦人会のそれらの立場と特色を生かして、暖い理解と力強いつながりの下に、活発な活動と事業の遂行に当たっているものであります。婦人会活動の三つの大切な点としては、生活的な色彩の濃い旧来の生活を合理化、近代化するよう衣食住や冠婚葬祭の改善に努力し、政治の面では日本再建のために先ず婦人の政治に関する

関心と啓蒙をはかり、教化の点に於いては会員の教養に務め地位の向上のため成人教育と青少年の育成教化乳幼児の保護など、それぞれの企画の下に婦人の愛の力を発揮し、理想の町を目指して一歩一歩、全力をつくし、よりよい社会を造る力になるように努力している次第でございます。

境婦人会 婦人學級

私達境婦人会は毎月婦人學級とし

て生花の講習、料理の講習を月一回行っており、初めは全員の無頓着のためと忙がしきにおわれ出席率も低く講師にたいしてはづかしく気の毒な思いもしましたが、一年二年たつと共に、会員の皆様方々の理解のもとに大へん盛んに講習会を終らせております。又、黒部保健所から指導者を引き衛生講話の聞いて最近はやりの出た妊娠の中絶の危険性や受胎調節等について聞いて聞いたりして関心を高めております。又、夏まつり、洗濯の講習やフトン、ザブトン綿の入れ方等、私達日常生活において大切な役わりですが、それこそ我流でやっておりますので教えていたゞいてはじめて、今更に分らなかつた所等良い収穫だと皆様から喜ばれております。



保育所を覗いて

宮崎婦人会長 野田みね

青空教室、何とロマンチックな言葉であらう、そんなスバラシイ保育所らしい限りだと人は言うであらう。余りに遊び場が広すぎるのだ、小さくても与えられた部屋、講堂、道路

線路、校庭、ブランコ場、砂場、浜何とセンチな所ばかり、どこの保育所をのぞいてみても一定の場所、設備の整つた中に、お花や金魚で飾られ、仏様をおがんで情懷豊かな中に育てられる子供たち、青空のもとに飛びまわる若者の如き面白き子供たち、まるで赤と白との対照なり、よい子にしたいと出される親たち、反対に胸白になるばかりだ、そう考へると自分の力のないのに、ためいきのみ、「今日は何を習つた」「なに」もくくる日もくる日もボカンと得る所なくかえるのだ。「先生はーたい何をしているのだ」と問う。先生方は大きな目をあけて、広すぎる遊び場をみはるために大童なり、二才より七才までの子供、そそりもすれば、おんぶもせねばならぬ。外からみる程ではない。よくして下さると感謝で一ぱいです。よい子に出来ぬ責任は私にあるのだ。宮崎の御両親、あしからず御容赦下さる様深くお詫言ひ申し上げますと共に、一方ならぬ小学校の御先生方の御庇護のもとにやりとげられる事を深く信じてうたがいません。

親子リクレーション大会

朝日町泊保育園

六月五日(日)晴

懸念された天候も初夏にふさわしい快晴、泊第一、第二保育園児二百全名は、お家族の方々に手を引かれ日東グラウンドに集合した。福田工場長の温情に依り、準備完了された会場には楽しい親子リクレーションの気分がみなぎった。午前九時三十分開始、まず全園児のボツボツ体操を真先に親子一諸の輪くぐり、親達の福の神、帽子送り、ゆうぎなど順々に展開されて行く、其の間の放送、審判など、お父様、お母様の役員振

りは目覚ましく、親の綱引に至つては応援、声援など白熱裡に一勝一敗に終つた。最後の「さよなら保育園」の歌の合唱には皆様の涙がらにお喜びになつた。午後二時、終了園児の手を引く年々御家族連れ楽しくお帰りになるお姿も一しほの感に打たれた。この日、御多忙中にも拘らず町長、児童委員長、婦人会の役員の皆様には来賓として終始御観覧下さつた事は感謝に堪えない次第である。



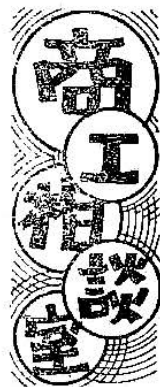
朝日町体育協会の昭和三十年度行事計画

- 六月三十日 町市中学マラソン大会
- 七月三日 両越中学校選抜野球大会
- 七月二十四日 郡民体育大会
- 七月二十五日 郡民体育大会
- 七月二十七日 海の催し
- 七月下旬 朝日登山
- 八月一日 町民排球大会 少年野球大会 相撲大会
- 八月十四日 両越陸上競技大会
- 九月十一日 軟式野球大会
- 十一月一日 朝日町地区訪問マラソン大会
- 十一月三日 町民体育大会
- 十一月下旬 卓球大会
- 二月上旬 スキー大会
- 二月中旬 卓球大会

大家庄公民館の動き

去る六月十五日大家庄公民館では六月定例運営審議委員会を開催し、農繁期のためしばらく休館状態であった活動を活発に開始することになった。早速七月の行事を次の通り実施する。

- 青年学級の開設。
- 婦人学級の開設。
- 婦人農業講座の開設。
- 討論会、公明選挙は如何に行うべきか。
- 夏期巡回講座。
- 青少年輔導育成座談会。
- 社会体育行事。
- 以上
- 社会体育については六月の下旬より駅伝マラソンの参加、柔道大会、バレーボール大会、これは町内対抗職域対抗等数回行方。又、登山や海の家の設置等盛沢山の行事を実施して、社会教育に併行して社会体育の普及に努める。これが実施にあつては地区体協と青年団体体育部の協力によるもので、特に体協の活躍は目ざましいものがある。大家庄地区全世帯が会員となり、力強い第一歩をふみ出したばかりではあるが、すでにバレーボール四十個を購入、全町内に配布しバレーボールの全町普及を目ざしている。昼休みにボールを手手に手に公民館に集い来るもの數十を数える状態で、これを見習う小学校の生徒も学業の休憩時間にくつものグループによつて出来ないながら一生けんめいに、大きなボールを投上げてゐる。いまや大人も子供もバレーボール熱は全町内に普及されようとしている。もうあと一ふんばりといふところである。



中小企業資金の融資について

國民金融並庫の幹旋

甲種普通貸付

中小企業者で適切な事業計画をもちその事業資金を必要とされる方
貸付限度 個人の場合貳拾萬圓以内
連帯の場合拾萬圓以内

貸付利率 年九分九厘六毛

貸付期間 三年以内

返済方法 月賦

保証人 一名以上

担保 原則として必要としません

乙種普通貸付

比較的規模が大きく、國民経済の維持発展に必要な事業の方に限り、サ―ビス業関係の事業等は大体除かれます。
貸付限度 個人の場合拾萬圓以内
連帯の場合貳萬圓以内

貸付利率 年九分九厘六毛

貸付期間 五年以内

保証人 一名以上

担保 百萬圓を超える場合は原則として必要です

特別小口貸付

特に緊急に小口の事業資金を必要とされる方です
貸付限度 一事業体に付五萬圓以内
貸付期間 三ヶ月以内特別の場合は六ヶ月以内

返済方法 一時払又は月賦

保証人 一名以上

利用状況は、二十九年中取扱件数八三件、一千百三拾五萬圓の貸付成立を見ましたが、本年も引続き融

資幹旋を期することとし、何時でも受付中でありま。

其の他「中小企業金融公庫」中小企業信用保険法による「小企業者小口保証」の幹旋等でありますが、いづれも御遠慮なく一層各位の御利用によつて伸びゆく郷土産業に貢献されたいものであります。

青色申告、納税貯蓄組合について

昨年十月以来青色申告、納税貯蓄組合業務の幹旋中でありま。

青色申告は納税者と税務官庁の相互信頼の上に立つ明瞭な申告納税制度の本当の姿を実現するために設けられた制度であります。記帳の基準は相当高度なもので、面倒だといはれていたが現在では大幅に簡略化され、どのようにに納税者の方でも面倒をかけないで記帳が出来る程度になっています。特点是有利に改正されたり、特点を追加されたりしています。

現在本会の取扱い納税者が前年の二倍程度の六拾七名になりました。未申告者はこれらの特点を十分利用活用され一人でも多く、青色申告者となりますよう希望いたします。詳細は何時でもお尋ね下さいませ。(朝日町商工連合会事務局)

朝日町観光協会 発足



朝日町観光協会 発足

新生朝日町は、海山に恵まれ、文部省指定宮崎自然博物館を始めとして、朝日岳等、名所旧蹟を各所に有する観光の町と云つても過言ではない。此の観光朝日町を天下に紹介するため、従前の個々の観光団体の統合を行い、こゝに新らしく、朝日町

観光協会を結成することとなり、朝日町長金森吟氏を会長として四月一日発足を見ることとなった。

役員は

会長 町長 金森吟

副会長 朝日町商工連合会長 古市繁太郎

同 町議会商工水産委員長 金井憲治

理事 町議会議長 清水伝平

以下各団体代表、民間人二十八名

常任幹事 谷川彦平 長井利一

の以上である。そして昭和三十年度事業予算として、会費拾壹万圓その他補助金等、九拾貳万五千五百圓を以て観光に関する事業を行うこととなつた。

朝日町の玄関

泊驛前廣場に

鳥瞰圖設置 計画成る



朝日町観光協会では、多年の懸案であつた郷土の観光案内図を泊驛前に設置し、朝日町地内の観光地を広く天下に紹介し、文化の向上と、厚生運動に資し、ひいては町勢発展の一助ともなればと、此の程これが設置を決定、専門家に委嘱して原図の作製中で、大体工事は八月下旬に竣工の予定で、完成の暁は来町者の足を、しばしとめしめることであらう。

県広報を始めとして、各市町村が発行する町報による広報活動や、各公民館に於てそれ／＼発行している公民館の広報運動等、近接の広報を通じて自治意識の高揚、社会教育運動の浸透にこれ／＼とめられている。

朝日町が発足して既に一年に、漸く今日、漸く我が朝日町に於ても、六月号を創刊号として、「あさひ」を発刊するに至つた。

「あさひ」編集に 当つて

創刊号として、「あさひ」を発刊するに至つた。

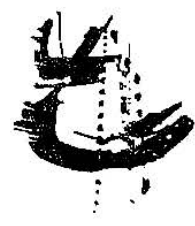
然しデフレ緊縮財政は、無条件に朝日町にも押し寄せて来て、予算の關係上、月々住民各位の御手許へ届ける迄には行かない現状である。隔月発刊の止むなきに至つた。

編集準備会に於て。総務課、教育委員会、各公民館長が合同して熟議の結果、他に見る、広報、町報の如くカミシモをつけない、肩のこらないものとしようと云うので、唯単に「あさひ」と名題して、町報の性格を公民館報の性格を併せ持たしたものとする事となつた。そして、総務課が庁内の記事の取材に当り、公民館長各連合会の団体代表がそれぞれの団体の記事の取材に當ることとした。さて編集に當り、編集を終つて見て、果してその企画通りのものが出来住民の皆様の期待に叶うものが出来上つたかどうかは、まことに汗顔の至りである。

地方公共団体では住民の必要に應えて知らせる義務があると共に、住民は主権者として知る責任のあること

を、此の意味に於て一層の相互の鞭撻を望むや切なるものである。編集の不手ぎわで折角の原稿も次号にまわしたのもある。御わび申し上げます。次号は朝日町発足一周年記念号として発刊する予定。題字は大平山清先生を煩はした、誌上深甚の謝意を表する。後記に代えさせていただきます。

編集長 九里道守



毛針について

待望の解禁はもうすぐです。釣天狗連は寸暇を見て釣具の手入れに余念がないことでしょうか。さてこゝで「毛針について」初心の方に私の経験をお知らせ致したいと思ひます。

解禁当初は「新魁小巻 飛付元黒 新魁荒巻小巻元とき 小巻元黒」とこれら魁系統がよく盛夏から下りにかけては「飛付の元黒 新魁孔雀 巻小巻 小巻裏半底 南郷 一力 魁クズシ 鬼クズシ元赤 一力の元虎」と、水垢のあるときは、茶系統がよい。深い所は、孔雀系統がよいと思ひます。又、増水後 水垢のないときは白系統で。
(新針二号 楽翁 楽翁の元カバ) がよいと思ひます。

あさひ 第一号

昭和三十年六月十五日印刷

昭和三十年六月二十日発行

編集長 九里道守

発行人 朝日町長 金森吟

印刷人 高田印刷所